

令和8年度は、モノコックバスの代わりにレトロなバスの定期運行を検討しております。

モノコックバスは前回ご報告の通り、エンジン故障というかなり厳しい状況であります。プロエンジニア有志の方々が復活を検討していただけるということで、まだまだ確証はないですが、時間をかけてじっくりと復活に挑戦していこうと考えております。

平成30年度から、毎年モノコックバスの定期運行を行って参りました。令和8年度はどうしようかと悩んでおりました。このようなことを考えるのは、社長である自分しかおりません。企画は平成30年から全部自分一人です。

昨年の9月、旭川電気軌道さんの創業100周年のイベント「バステク・スペシャル」に参加しました。当初はレトロバスとしてモノコックバスも旭川市内運行などに参加する予定でしたが、故障のため、弊社乗合31号車（日野1994年製 旭川200か914 U-HU3KPAA）を展示しました。車齢31年です。正直、不安はありましたが、とてもたくさんの方に車内見学をいただきました。車内で、士別軌道の歴史や古い写真を展示し、グッズやバスの部品の販売（ご寄付）もいたしました。たくさんお買い上げいただきました。驚き



士別軌道 04081 U-HU3KPAA

でした。2日間のイベントで、自分と営業課長2人で対応しましたが、少々汗だくになりながら、バスファンの方々とお話ししながら、グッズ販売やらプレゼント配布に精を出しておりました。モノコックバスの現状についての質問も多くありました。結構楽しい2日間でした。

その時に、バスファンの方々から31号車について「このバスも珍しいね、あんまり走ってないよね」との言葉がありました。

本格的なファンの方は車体番号などが書かれた製造銘板の写真を撮るんです。それで、バスの歴史がわかるのだ、と理解しました。「このバス、〇〇で走っていたヤツ」だとか、わかるのですね。さすがです。

最近になって、来年は31号車で「中多寄線（日向温泉経由）」でも定期運行してみようかな、と思いつきました。日向温泉での乗降は士別市の助成で「無料」です。温泉に入ったり、温泉のレストランでお食事をされた方に、ガラポン抽選で・・・などと思案中です。

この案について、もしくはもっと良いアイデアがあれば、弊社までメールをお願い申し上げます。弊社ホームページにアドレスがあります。よろしく申し上げます。ただし、お金がないのでたいしたことはできないのです。ご理解を・・・。

2026年2月20日 本日満68歳になりました 士別軌道の社長 井口 裕史